

9/19-25 聖書日課と分かち合い

9月19日(月) ダニエル 10:5~6 麻の服を着た人

5 目を上げて眺めると、見よ、一人の人が麻の衣を着、純金の帯を腰に締めて立っていた。6 体は宝石のようで、顔は稲妻のよう、目は松明の炎のようで、腕と足は磨かれた青銅のよう、話す声は大群衆の声のようであった。5 目を上げて眺めると、見よ、一人の人が麻の衣を着、純金の帯を腰に締めて立っていた。6 体は宝石のようで、顔は稲妻のよう、目は松明の炎のようで、腕と足は磨かれた青銅のよう、話す声は大群衆の声のようであった。

3週間も続いたダニエルの嘆きの祈りをお聞きになった神さまは、私たち人間には到底思いつかないような方法で幻を与えてくださいます。み使いの幻は「特別に愛されている人よ、安心せよ、強くあれ、強くあれ。」と語りダニエルは慰めを得ます。祈りに応えてくださる神さまは私たちのことも愛して下さり、私たちは決して見捨てられることはありません。

9月20日(火) ヌダ 1:17~20 終わりの時には

17 愛する人たち、わたしたちの主イエス・キリストの使徒たちが前もって語った言葉を思い出しなさい。18 彼らはあなたがたにこう言いました。「終わりの時には、あざける者どもが現れ、不信心な欲望のままにふるまう。」19 この者たちは、分裂を引き起こし、この世の命のままに生き、霊を持たない者です。20 しかし、愛する人たち、あなたがたは最も聖なる信仰をよりどころとして生活しなさい。聖霊の導きの下に祈りなさい。

偽預言者たちの語ることばに惑わされず、しっかり信仰を守ることを勧めています。信仰は神さまが私たちに与えてくださった賜物であり、キリスト者の生活の基盤です。「聖なる信仰」を土台とし、主イエスに従い歩むとき、たましいは救いへと導かれ平安が与えられます。

9月21日(水) 黙示録 3:5 命の書に記された者

勝利を得る者は、このように白い衣を着せられる。わたしは、彼の名を決して命の書から消すことはなく、彼の名を父の前と天使たちの前で公に言い表す。

「命の書」は主イエスを信じる信仰を持つ者（白い衣が約束されている者）だけが名前を記されます。イエスさまはその人たちの名前を父なる神さまのみ前で言い表してくださいます。私たちの名前も呼んでくださるでしょう。そして主による贖いの恵みに与って神の国に生きるものとなるのです。

9月22日(木) ヘブライ 3:7~14 神に反抗したときのように

7 だから、聖霊がこう言われるとおりです。

「今日、あなたたちが神の声を聞くなら、

8 荒れ野で試練を受けたころ、

神に反抗したときのように、

心をかたくなにしてはならない。

9-10 荒れ野であなたたちの先祖は

わたしを試み、験し、

四十年の間わたしの業を見た。

だから、わたしは、その時代の者たちに対して

憤ってこう言った。

『彼らはいつも心が迷っており、

わたしの道を認めなかった。』

11 そのため、わたしは怒って誓った。

『彼らを決してわたしの安息に

あずからせはしない』と。」

12 兄弟たち、あなたがたのうちに、信仰のない悪い心を抱いて、生ける神から離れてしまう者がないように注意しなさい。13 あなたがたのうちだれ一人、罪に惑わされてかたくなにならないように、「今日」という日のうちに、日々励まし合いなさい。

—— 14 わたしたちは、最初の確信を最後までしっかりと持ち続けるなら、キリストに連なる者となるのです。——

イスラエルの民はエジプトから約束の地を目指し荒野を旅する中で、多くの戦いと困難に遭遇しました。何度も神さまのみわざを体験したにも関わらず、少しでも状況が悪いとすぐ不平不満を言い神に背きました。心が迷い神の道を悟ることができなかつたからです。「心をかたくなにはいけない」「日々、互いに励まし合いなさい」出エジプトを通して私たちの信仰生活について教えています。罪に惑わされ神から離れることがないようにと。

9月23日(金) ヨハネ 3:15~16 永遠の命を得るために

15 それは、信じる者が皆、人の子によって永遠の命を得るためである。

16 神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。

救いに関わる大切なことが2つ示されています。①神さまがひとり子をお与えになった。②御子を信じる(人がなすべきこと)。救いに与る方法で人ができることはただひとつです。イエスさまの十字架と復活は自分のためであったと信じるならば永遠のいのちが与えられます。もしまだ信じていないのならば信仰の決断をしましょう。神さまは待っておられます。

9月24日(土) マタイ 28:18~20 世の終わりまで、いつも

18 イエスは、近寄って来て言われた。「わたしは天と地の一切の権能を授かっている。19 だから、あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、20 あなたがたに命じておいたことをすべて守るように教えなさい。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」

復活されたイエスさまにすべての権能が与えられており、この権能をもって弟子たちを派遣されます。今もイエスさまは権能をお持ちです。大宣教命令のゴールはあらゆる国の人を主の弟子にするということです。希望を語り続けましょう。世の終わりまでいつも私たちと共にいてくださるという祝福をいただいているのですから。

9月25日(日) ダニエル 12:1~13 その時まで、その時には

1 その時、大天使長ミカエルが立つ。

彼はお前の民の子らを守護する。

その時まで、苦難が続く

国が始まって以来、かつてなかったほどの苦難が。

しかし、その時には救われるであろう

お前の民、あの書に記された人々は。

2 多くの者が地の塵の中の眠りから目覚める。

ある者は永遠の生命に入り

ある者は永久に続く恥と憎悪の的となる。

3 目覚めた人々は大空の光のように輝き

多くの者の救いとなった人々は

とこしえに星と輝く。

4 ダニエルよ、終わりの時が来るまで、お前はこれらのことを秘め、この書を封じておきなさい。多くの者が動揺するであろう。そして、知識は増す。」

5 わたしダニエルは、なお眺め続けていると、見よ、更に二人の人が、川の両岸に一人ずつ立っているのが見えた。6 その一人が、川の流れの上に立つ、あの麻の衣を着た人に向かって、「これらの驚くべきことはいつまで続くのでしょうか」と尋ねた。7 すると、川の流れの上に立つ、あの麻の衣を着た人が、左右の手を天に差し伸べ、永遠に生きるお方によってこう誓うのが聞こえた。「一時期、二時期、そして半時期たつて、聖なる民の力が全く打ち砕かれると、これらの事はすべて成就する。」8 こう聞いてもわたしには理解できなかったので、尋ねた。「主よ、これらのことの終わりはどうなるのでしょうか。」9 彼は答えた。「ダニエルよ、もう行きなさい。終わりの時までこれらの事は秘められ、封じられている。10 多くの者は清められ、白くされ、練られる。逆らう者はなお逆らう。逆らう者はだれも悟らないが、目覚めた人々は悟る。11 日ごとの供え物が廃止され、憎むべき荒廃をもたらすものが立てられてから、千二百九十日が定められている。12 待ち望んで千三百三十五日に至る者は、まことに幸いである。13 終わりまでお前の道を行き、憩いに入りなさい。時の終わりにあたり、お前に定められている運命に従って、お前は立ち上がるであろう。

イスラエルの民にとって、国が始まって以来かつてなかったほどの苦難のとき、試練のときが続きます。多くの困難や迫害にあったとしても、自分の信じる道をまっすぐ行けばよいと天使は告げています。苦難が終わる日が来ると信じて立ち上がるダニエル。神さまの言葉はとても不思議でダニエルはすべてを理解することはできませんでしたが、祈りの中で与えられた大きな希望に導かれ歩んでいきます。

(担当 : N.U.)